



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 古河機械金属株式会社
コード番号 5715 URL <http://www.furukawakk.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮川 尚久
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 酒井 宏之

TEL 03-3212-7021

四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	36,235	△14.0	1,690	△27.3	1,201	△43.0	788	△47.6
28年3月期第1四半期	42,137	8.6	2,326	75.7	2,106	69.4	1,504	47.6

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △542百万円 (—%) 28年3月期第1四半期 2,414百万円 (128.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	1.95	—
28年3月期第1四半期	3.72	3.64

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	196,817	65,688	32.5
28年3月期	195,650	68,262	34.0

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 63,876百万円 28年3月期 66,459百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	76,500	△11.4	3,000	△25.0	2,400	△26.1	1,600	△34.4	3.96
通期	161,500	△0.2	8,000	0.1	6,500	4.4	4,500	△11.0	11.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期1Q	404,455,680 株	28年3月期	404,455,680 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

29年3月期1Q	401,105 株	28年3月期	398,486 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	404,055,279 株	28年3月期1Q	404,080,350 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
平成29年3月期 第1四半期決算短信 補足資料	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成28年4月1日～同年6月30日)の我が国経済は、景気に弱さがみられながらも緩やかな回復基調が続いていますが、企業業績の改善には足踏みがみられ、また、依然として、中国をはじめとするアジア新興国や資源国等の景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクには注意を要する状況でした。

このような経済状況の下、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は、362億35百万円(対前年同期比59億1百万円減)、営業利益は、16億90百万円(対前年同期比6億36百万円減)となりました。主として、産業機械、ロックドリル、ユニックの機械3部門と金属部門で減収となり、機械3部門の減収により、営業利益も減益となりました。

各報告セグメントの売上高と営業利益の状況は、以下のとおりです。

産業機械部門の売上高は、24億35百万円(対前年同期比8億52百万円減)、営業損失は、2億91百万円(前年同期は2億23百万円の利益)となりました。陸前高田市向け高台移転工事での土砂の搬送は平成27年9月中旬に完了したことから、吊り橋の撤去工事にとどまり、また、橋梁の売上も振るわず減収となり、それに伴い、営業損失計上となりました。

ロックドリル部門の売上高は、66億31百万円(対前年同期比10億72百万円減)、営業利益は、4億65百万円(対前年同期比1億13百万円減)となりました。国内外向けともに、油圧ブレーカの出荷が低調に推移したことから減収となりました。

ユニック部門の売上高は、58億38百万円(対前年同期比5億48百万円減)、営業利益は、5億79百万円(対前年同期比1億19百万円減)となりました。主力製品であるユニッククレーンのレンタル向け出荷が振るわず、国内向け販売台数が減少したことから減収となりました。

産業機械、ロックドリルおよびユニックの機械3部門の合計売上高は、149億5百万円(対前年同期比24億74百万円減)、営業利益は、7億53百万円(対前年同期比7億48百万円減)となりました。

金属部門の売上高は、175億73百万円(対前年同期比33億16百万円減)、営業利益は、5億96百万円(対前年同期比1億14百万円増)となりました。国内需要の低迷を輸出で補い、販売数量は若干の減少にとどまりましたが、電気銅海外相場の下落や円高の影響により、大幅な減収となりました。

電子部門の売上高は、14億16百万円(対前年同期比16百万円増)、営業利益は、11百万円(前年同期は30百万円の損失)となりました。主力の高純度金属と素は、原発事故風評被害の影響で、未だ苦戦が続いていますが、結晶およびコイル製品で増収となりました。

化成品部門の売上高は、13億39百万円(対前年同期比1億77百万円減)、営業利益は、31百万円(対前年同期比42百万円減)となりました。銅価下落等による亜酸化銅の売上減少と、需要減少による酸化チタンの出荷減により、減収となりました。

不動産部門の売上高は、7億87百万円(対前年同期比18百万円増)、営業利益は、3億46百万円(対前年同期比5百万円減)となりました。

当第1四半期連結累計期間の経常利益は、12億1百万円(対前年同期比9億4百万円減)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、7億88百万円(対前年同期比7億16百万円減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、1,968億17百万円で前連結会計年度末に比べ11億67百万円増加しました。有利子負債(借入金)は、772億76百万円で前連結会計年度末に比べ10億35百万円増加しました。純資産は、656億88百万円で前連結会計年度末に比べ25億74百万円減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成28年5月10日に公表いたしました業績予想から変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,164	15,643
受取手形及び売掛金	24,701	20,990
商品及び製品	13,910	14,450
仕掛品	7,985	7,940
原材料及び貯蔵品	11,987	14,626
その他	5,796	6,025
貸倒引当金	△229	△217
流動資産合計	76,314	79,459
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	20,991	20,649
土地	55,129	55,109
その他(純額)	9,193	8,942
有形固定資産合計	85,314	84,701
無形固定資産	158	170
投資その他の資産		
投資有価証券	27,634	26,451
その他	6,813	6,581
貸倒引当金	△584	△545
投資その他の資産合計	33,862	32,486
固定資産合計	119,335	117,358
資産合計	195,650	196,817

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,012	14,801
電子記録債務	7,877	8,050
短期借入金	27,836	30,647
未払法人税等	360	244
引当金	124	180
その他	9,538	11,139
流動負債合計	59,749	65,066
固定負債		
長期借入金	48,404	46,628
引当金	1,669	1,607
退職給付に係る負債	8,325	8,464
資産除去債務	213	214
その他	9,024	9,147
固定負債合計	67,637	66,063
負債合計	127,387	131,129
純資産の部		
株主資本		
資本金	28,208	28,208
利益剰余金	33,467	32,238
自己株式	△63	△63
株主資本合計	61,612	60,382
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,513	3,499
繰延ヘッジ損益	157	177
土地再評価差額金	3,583	3,580
為替換算調整勘定	542	44
退職給付に係る調整累計額	△3,950	△3,808
その他の包括利益累計額合計	4,847	3,493
非支配株主持分	1,802	1,812
純資産合計	68,262	65,688
負債純資産合計	195,650	196,817

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	42,137	36,235
売上原価	35,521	30,458
売上総利益	6,615	5,777
販売費及び一般管理費	4,289	4,086
営業利益	2,326	1,690
営業外収益		
受取配当金	237	269
その他	132	131
営業外収益合計	369	401
営業外費用		
支払利息	221	177
為替差損	47	430
その他	321	281
営業外費用合計	590	890
経常利益	2,106	1,201
特別利益		
固定資産売却益	51	3
その他	0	0
特別利益合計	51	3
特別損失		
固定資産除売却損	6	4
その他	—	0
特別損失合計	6	4
税金等調整前四半期純利益	2,151	1,200
法人税、住民税及び事業税	425	267
法人税等調整額	196	103
法人税等合計	622	371
四半期純利益	1,528	829
非支配株主に帰属する四半期純利益	23	41
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,504	788

(四半期連結包括利益計算書)
(第 1 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 6 月 30 日)
四半期純利益	1,528	829
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	650	△1,015
繰延ヘッジ損益	385	2
為替換算調整勘定	△89	△509
退職給付に係る調整額	184	141
持分法適用会社に対する持分相当額	△245	9
その他の包括利益合計	885	△1,372
四半期包括利益	2,414	△542
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,387	△562
非支配株主に係る四半期包括利益	26	20

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					
	産業機械	ロックドリル	ユニック	金属	電子	化成品
売上高						
外部顧客への売上高	3,288	7,704	6,387	20,890	1,399	1,517
セグメント間の 内部売上高又は振替高	628	0	21	92	35	13
計	3,916	7,704	6,409	20,983	1,435	1,530
セグメント利益又は損失 (△)	223	578	698	481	△30	73

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不動産	計				
売上高						
外部顧客への売上高	769	41,957	179	42,137	—	42,137
セグメント間の 内部売上高又は振替高	33	826	385	1,212	△1,212	—
計	802	42,783	565	43,349	△1,212	42,137
セグメント利益又は損失 (△)	351	2,378	△10	2,367	△40	2,326

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△40百万円には、セグメント間取引消去△12百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△27百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない「金属鉱山跡資産」及び「炭鉱跡資産」関連費用です。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					
	産業機械	ロックドリル	ユニック	金属	電子	化成品
売上高						
外部顧客への売上高	2,435	6,631	5,838	17,573	1,416	1,339
セグメント間の 内部売上高又は振替高	598	13	35	51	5	13
計	3,033	6,644	5,873	17,624	1,421	1,353
セグメント利益又は損失 (△)	△291	465	579	596	11	31

(単位：百万円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不動産	計				
売上高						
外部顧客への売上高	787	36,023	211	36,235	—	36,235
セグメント間の 内部売上高又は振替高	33	749	359	1,109	△1,109	—
計	821	36,773	571	37,344	△1,109	36,235
セグメント利益又は損失 (△)	346	1,738	△48	1,690	0	1,690

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額0百万円には、セグメント間取引消去26百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△26百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない「金属鉱山跡資産」及び「炭鉱跡資産」関連費用です。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

前提

			対前年同期増減	
銅価	第1四半期決算	\$/mt	4,730	1,324
	第2四半期累計予想	\$/mt	5,000	653
	年度予想	\$/mt	5,000	215
為替	第1四半期決算	円/\$	108.3	13.1
	第2四半期累計予想	円/\$	110.0	11.8
	年度予想	円/\$	110.0	10.1

平成29年3月期 第1四半期決算短信 補足資料

2016年8月5日
古河機械金属株式会社

(売上高)

(単位:百万円 単位未満切捨)

	平成29年3月期		対前年同期増減
	平成28年3月期 第1四半期	平成29年3月期 第1四半期	
機械部門	17,380	14,905	2,474
(産業機械)	(3,288)	(2,435)	(852)
(ロックドリル)	(7,704)	(6,631)	(1,072)
(ユニック)	(6,387)	(5,838)	(548)
金属部門	20,890	17,573	3,316
電子部門	1,399	1,416	16
化成品部門	1,517	1,339	177
不動産部門	769	787	18
その他	179	211	31
[合計]	42,137	36,235	5,901

平成29年3月期			
第2四半期累計予想	対前年同期増減	年度予想	対前年増減
34,000	2,835	75,500	3,267
(5,600)	(961)	(18,000)	(3,073)
(15,000)	(1,755)	(29,300)	(776)
(13,400)	(119)	(28,200)	(970)
34,600	7,235	70,000	4,192
2,800	6	5,700	222
3,000	24	6,100	126
1,500	28	3,000	45
600	231	1,200	323
76,500	9,885	161,500	299

(営業利益)

	平成29年3月期		対前年同期増減
	平成28年3月期 第1四半期	平成29年3月期 第1四半期	
機械部門	1,501	753	748
(産業機械)	(223)	(291)	(515)
(ロックドリル)	(578)	(465)	(113)
(ユニック)	(698)	(579)	(119)
金属部門	481	596	114
電子部門	30	11	41
化成品部門	73	31	42
不動産部門	351	346	5
その他	10	48	37
(計)	2,367	1,690	676
調整額	40	0	40
[合計]	2,326	1,690	636

平成29年3月期			
第2四半期累計予想	対前年同期増減	年度予想	対前年増減
1,750	1,225	5,600	282
(250)	(584)	(1,100)	(62)
(700)	(544)	(1,500)	(717)
(1,300)	(96)	(3,000)	(372)
900	404	1,250	95
100	61	50	418
100	35	250	52
500	143	1,000	276
70	26	70	2
3,080	965	8,080	10
80	33	80	0
3,000	999	8,000	11